


公明党 横浜市会ニュース
 第81号

VOICEよこはま

公明党横浜市議員団 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL **671-3023** FAX **681-2060**
<http://www.yhkomei.com/>
 E-mail: shikai@yhkomei.com

横浜市長選挙

林文子市長を推薦

公明党は、横浜市長選挙（7月16日告示、同30日投開票）に3期目の出馬を表明した林文子市長に対し、推薦を決定しました。推薦の決定に際して、公明党横浜市会議員団からの提案や要望への取り組み状況などを検証しました。

その結果、防災・減災対策、小児医療費助成の拡充、市立中学校の昼食「ハマ弁」の全校実施、高齢・障がい者福祉の推進など、私どもの要望が実施あるいは実施の方向で検討されていることを確認しました。

今回の推薦にあたっては、次の8項目からなる政策協定を結び、その実現に向けて取り組んでいくことを約束しました。

【8つの政策】

- ①災害に強いまち・ひと・地域づくり
- ②子育て支援と教育の充実
- ③医療と福祉の充実
- ④横浜経済の活性化・雇用の促進
- ⑤文化・芸術・観光施策の推進
- ⑥都市基盤整備の推進
- ⑦環境施策の推進
- ⑧行財政改革の推進



林文子市長に推薦状を手渡す公明党市議団

平成29年第2回定例会の論戦から

議案関連質疑

「横浜サポーターズ寄附金」の周知について

横浜版ふるさと納税の「横浜スポーツ寄附金」は、今年度から9つの寄附メニューを追加し、全部で19の寄附メニューに拡充しています。横浜市は、いたずらに返礼品競争に加わることなく、市営バスの「みなとぶらりチケットワイド」や「動物園の共通パスポート」などをお返しすることで横浜の魅力や事業の成果を知っていただくよう工夫しています。こうした横浜スポーツ寄附金の新たな仕組みをさらに周知する必要があると訴えました。

林市長は、市のトップページにバーナーを設け、寄附の活用報告などをきめ細かく掲載すること。また、主要な観光施設やターミナル駅でのリーフレット配布、電車内広告など広報の充実に取り組み、市外の方にも広く周知すると答弁しました。

横浜スタジアムの増席・改修に係る条例改正について

(株)横浜スタジアムが、6000席の増席やバリアフリー対応のエレベーター設置、回遊デッキの建設などを行い横浜市に寄付した上、今後40年間管理を行う等の横浜スタジアムの増築・改修に係る条例改正に関連して質問しました。野球場以外の公園利用者への配慮、公園内で行われるイベントへの影響について質すとともに、スタジアムの増築が関内の街並み形成に寄与するよう求めました。

市長は、回遊デッキが設置されることで、公園利用者全体の安全性・



横浜市議員〔港北区選出〕
もちづき
望月やすひろ

されることで、公園利用者全体の安全性・利便性が向上すること、増築するスタンドや回遊デッキの下は、イベント時にも活用できるなど公園利用者に配慮した計画となっていると答弁しました。

また、街並みの連続性を意識して色彩や形状も工夫し、関内地区にふさわしい象徴的施設にすると表明しました。

一般質問

身近にスポーツを行える場の確保について

地域の皆様からいただく要望の1つに、地域でスポーツを行える場の確保があります。3年後に控える「東京2020オリンピック・パラリンピック大会」は、世界の注目が横浜に集まるとともに、スポーツの裾野を広げる絶好の機会でもあります。また、スポーツ基本法では、地方公共団体に対し、学校のスポーツ施設の改修や照明施設の設置などを求めています。

そこで、身近にスポーツを行える場の確保として、学校グラウンドへの夜間照明の設置を推進するべきと質しました。

岡田教育長は、スポーツを行える場の確保は、大変重要との認識を示した上で、学校の夜間照明設備は、オリンピックを契機に、関係局と連携し条件を整備して、設置の検討を進めていくと答弁しました。



犯罪被害者等支援について

犯罪による被害の危険は他人事ではありません。被害者が、突然の事態に巻き込まれ、混乱や動揺の避けられない中でも、支援につながるためには、より広く支援制度やその手続きなどが周知されることも重要です。横浜市では、平成24年6月から「横浜市犯罪被害者相談室」を開設し、犯罪被害にあわれた市民に対する相談支援を行っているほか、犯罪被害者等への理解が深まるよう、さまざまな啓発事業を実施しています。今後、より一層の関係機関の連携や支援の充実を図るため、「犯罪被害者等支援条例」の制定を推進すべきと訴えました。

市長は、被害者やご家族が抱える多様な問題の解決につながるよう、条例を制定している他自治体への調査や課題の整理などを今後進めていくと答弁しました。

皆さまの、いちばん近くで動く、働く。

横浜市会公明党です。

新しい構成により議会在スタート

 仁田 昌寿（南区） ●国際・経済・港湾委員会 ●大都市行財政制度特別委員会 副委員長	 和田 卓生（旭区） ●こども青少年・教育委員会 ●健康づくりスポーツ推進特別委員会 委員長	 尾崎 泰（太田区） ●こども青少年・教育委員会委員長 ●観光・創造都市・国際戦略特別委員会 ●市会運営委員会理事	 望月 康弘（港北区） ●健康福祉・医療委員会 ●基地対策特別委員会 副委員長	 竹内 康洋（稲沢区） ●市民・文化観光・消防委員会 ●大都市行財政制度特別委員会	 齋藤 真二（都筑区） ●温暖化対策・環境創造・資源循環委員会 ●健康づくりスポーツ推進特別委員会 ●市会運営委員会副委員長	 斎藤 伸一（保土ヶ谷区） ●建築・都市整備・道路委員会 ●観光・創造都市・国際戦略副委員長	 高橋 正治（緑区） ●政策・総務・財政委員会 ●基地対策特別委員会 ●神奈川県後期高齢者医療広域連合協議会議員
 竹野内 猛（金沢区） ●健康福祉・医療委員会 ●減災対策推進特別委員会 副委員長	 安西 英俊（港南区） ●水道・交通委員会副委員長 ●減災対策推進特別委員会	 中島 光徳（戸塚区） ●建築・都市整備・道路委員会 ●観光・創造都市・国際戦略特別委員会 ●市会運営委員会	 行田 朝仁（青葉区） ●市民・文化観光・消防委員会 ●健康づくりスポーツ推進特別委員会 委員長	 福島 直子（中区） ●政策・総務・財政委員会 ●観光・創造都市・国際戦略副委員長 ●特別委員会	 源波 正保（泉区） ●水道・交通委員会 ●大都市行財政制度特別委員会 ●神奈川県後期高齢者医療広域連合協議会議員	 加納 重雄（瀬谷区） ●国際・経済・港湾委員会 ●減災対策推進特別委員会 ●神奈川県内広域水道企業団協議会議員	 加藤 広人（磯子区） ●温暖化対策・環境創造・資源循環委員会 ●基地対策特別委員会

平成30年度 予算編成に向け 各種団体との政策懇談会を開催



公明党市議団と市民団体や業界団体代表の意見交換の場である「政策懇談会」を開催しました。

参加した33の団体から寄せられた様々な要望や提案は、来年度の予算要望に反映するほか、市議団の今後の施策に活かします。(6月12日～16日)

日々の政務活動から

学校施設へ夜間照明の設置を

横浜市は、夜間照明の設置は4.5%にあたる22校にとどまっています。市議団は、オリンピック・パラリンピック東京大会を契機とした地域スポーツのレガシー遺産として、夜間照明の設置推進に取り組めます。(4月12日)



市立城北小学校での照明設置状況等を確認

横浜港の国際競争力強化へ

国際競争力強化のため整備を進める日本最大のコンテナターミナルの南本牧ふ頭や山下ふ頭などを視察すると共に、大さん橋では、クルーズ船の誘致促進について港関係者と意見交換を行いました。

国と横浜市が一体となって戦略的な取り組みを加速します。(5月8日)



横浜市内にある

国際機関との連携

■国連食糧農業機関(FAO)
食糧事情の改善を通じて、世界経済の発展や飢餓からの解放を目指す国連専門機関であるFAOのポリコ所長と食品ロス削減について意見交換を行いました。今回の訪問を機に、FAOと連携し、食品ロス削減やフードバンク等の取り組みを進めます。(4月4日)



国際熱帯木材機関(ITTO)

国際熱帯木材協定に基づいて設立された国際機関であるITTOの新事務局長ゲルハルト・ディタレ氏を表敬訪問。市議団は、環境施策の意見交換や横浜市の環境教育プログラムへの取組推進など、ITTOとの連携を進めています。(5月31日)



公明党市議団が提案し 実現した中学校昼食「ハマ弁」



<ハマ弁>

1. メインのおかずを2種類から選べます。
2. ご飯の量を選べます。
3. ご飯と汁物が温かい状態で提供されます。
4. ご飯・おかず・汁物セットで390円です。



- 汁物と牛乳は単品で注文できます。
- 事業者が作成した献立を、教育委員会の栄養士が管理します。
- 注文はパソコンやスマートフォンからできます。お支払いはクレジット、コンビニ端末又はファクスでの事前決済となります。学校で現金のやり取りはありません。

本年1月より、全市立中学校において、栄養バランスのとれた温もりのある「ハマ弁」と「家庭弁当」のどちらも選択できる昼食の環境が整いました。

公明党市議団は、平成3年度から中学校昼食の改善に取り組み、スクールランチ方式の昼食を提案し、「ハマ弁」として実現しました。今後、さらなる充実をめざします。

皆さまの、いちばん近くで動く、働く。横浜市会公明党です。

新しい構成により議会がスタート

 仁田 昌寿 (南区) ●国際・経済・港湾委員会 ●大都市行政制度特別委員会 副委員長	 和田 卓生 (旭区) ●こども青少年・教育委員会 ●健康づくり・スポーツ推進特別委員会 委員長	 尾崎 太 (鶴見区) ●こども青少年教育委員会委員長 ●観光・創造都市・国際戦略特別委員会 特別委員長	 望月 康弘 (港北区) ●健康福祉・医療委員会 ●基地対策特別委員会 副委員長	 竹内 康洋 (神奈川区) ●市民・文化観光・消防委員会 ●大都市行政制度特別委員会 副委員長	 斎藤 真二 (都筑区) ●温暖化対策・環境創造・資源循環委員会 ●健康づくり・スポーツ推進特別委員会 特別委員長	 斎藤 伸一 (保土ヶ谷区) ●建築・都市整備・道路委員会 ●観光・創造都市・国際戦略特別委員会 副委員長	 高橋 正治 (緑区) ●政策・総務・財政委員会 ●基地対策特別委員会 ●神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員
 竹野内 猛 (金沢区) ●健康福祉・医療委員会 ●減災対策推進特別委員会 副委員長	 安西 英俊 (港南区) ●水道・交通委員会副委員長 ●減災対策推進特別委員会 副委員長	 中島 光徳 (戸塚区) ●建築・都市整備・道路委員会 ●観光・創造都市・国際戦略特別委員会 特別委員長	 行田 朝仁 (青葉区) ●市民・文化観光・消防委員会 ●健康づくり・スポーツ推進特別委員会 委員長	 福島 直子 (中区) ●政策・総務・財政委員会 ●観光・創造都市・国際戦略特別委員会 副委員長	 源波 正保 (泉区) ●水道・交通委員会 ●大都市行政制度特別委員会 ●神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員	 加納 重雄 (瀬谷区) ●国際・経済・港湾委員会 ●減災対策推進特別委員会 ●神奈川県内広域水道企業団議会議員	 加藤 広人 (磯子区) ●温暖化対策・環境創造・資源循環委員会 ●基地対策特別委員会